

# 「佐賀牛」の低コスト 生産プロジェクト



有限会社 中村牧場



有限会社 中村牧場  
(牛舎所在地)  
佐賀県唐津市肥前町



## 平成17年度農畜産物販売実績（JAからつ）

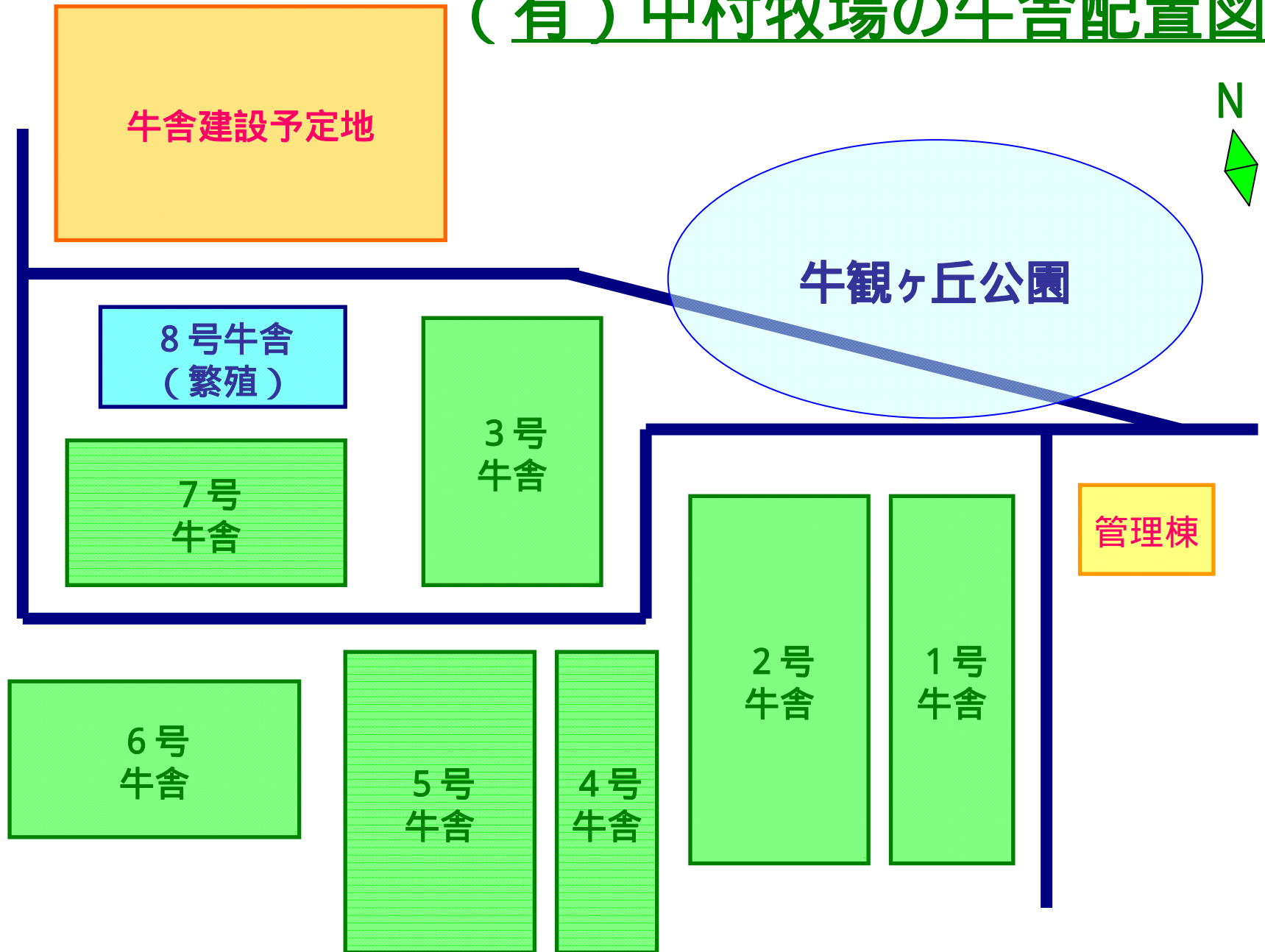
区 分	農畜産物販売実績		割 合
	数 量	金 額	
畜 産		11,142 百万円	40.5% (100.0%)
	うち肉牛	10,542 頭	8,426 百万円 30.6% (75.6%)
農 産(米など)	182,960 t	2,539 百万円	9.2%
野 菜	20,760 t	6,339 百万円	23.0%
果 樹	18,108 t	6,380 百万円	23.2%
特 産	6,605 t	714 百万円	2.6%
合 計		27,532 百万円	100.0%

## 肉用牛の飼養状況等

(単位：頭)

区 分	飼養頭数	生産頭数	備 考
肥育部門	肥育牛 1,416	763	牛舎7棟
繁殖部門	繁殖雌牛 51	39	牛舎1棟

# (有)中村牧場の牛舎配置図





# 法人の構成と労働力

区分	役職	代表者 との続柄	従事日数	部門または 作業担当	備考
構成員	代表取締役	本人	250	経営の総括 素牛導入	社長
	取締役	妻	100	肥育牛管理	
	取締役	長男	300	牛管理全般 (主に肥育牛)	専務
	取締役	長男妻	100	事務管理全般	
	取締役	長女	300	牛管理全般 (繁殖牛責任者)	技術部長
	取締役	次男	300	牛管理全般 (主に肥育牛)	
臨時雇	延べ人日 1,278人 (3.5人 × 365日)			飼槽・牛舎の清掃	パート 及び シバ-人材センター

## 経営・活動の推移

年次	飼養頭（羽）数	経営・活動の内容
昭和		(父) 運送業に従事
4 5	乳用種 100頭	(父) 就農
4 7		規模拡大のため牛舎等施設移転
5 9	乳用種 250頭 黒毛和種 80頭	乳用種素牛価格の上昇、黒毛和種（去勢）を導入
6 3	黒毛和種 423頭	(宮崎県導入開始・佐賀牛のブランド化に尽力)
平成		(佐賀牛指定配合飼料「佐賀牛12号」の試験)
元年	黒毛和種 500頭	牛舎建設（300頭）
5		(本人) 就農 (ビール粕発酵飼料の試験)
1 0	黒毛和種 1,000頭	販売高4億円達成
1 1		牛舎建設（288頭）
1 2		リース牛舎建設（240頭、144頭）
		(繁殖部門の試験を開始)
1 3		牛舎建設（288頭）
1 4	黒毛和種 1,500頭	土地購入（現在地隣接）
1 6		自己資金で牛舎建設（288頭）
1 7		繁殖牛舎建設（フタバ牛舎50頭）
1 8		(有) 中村牧場を設立 農業経営改善計画の認定
		牛舎建設中（肥育牛300頭）（牛観ヶ丘公園を建設）



## 【畜産経営の特徴】

大規模肉用牛経営であり、法人化を実施  
ブランド化した「佐賀牛」生産と低コスト  
化による収益性の確保

指定配合飼料や発酵飼料の給与技術の確立  
繁殖部門への取り組み

高齢者雇用による牛舎内外の環境対策

## 【低コスト化への取り組み】

もと牛導入価格の低減とそれを補う肥育技術  
牛管理体系の省力化による経営規模の拡大

## 【肥育技術】

枝肉格付等級「5率」17.0%、「4、5率」62.0%  
全国肉用牛枝肉共励会(東京食肉市場)で  
3年連続上位入賞(平成15～17年度)

## 【経営成果】

販売肉牛1頭当たり売上高	871千円/頭
販売肉牛1頭当たり生産原価	597千円/頭
販売肉牛1頭当たり当期純所得	190千円/頭























## 【地域農業や地域社会との協調・融和】

耕種農家との連携による資源循環型畜産経営

ふれあいの場として牛観ヶ丘公園を建設

牛肉消費拡大・地産地消への取り組み

雇用の創出と研修生の受け入れ

## 【今後の目標と課題】

「佐賀牛」生産及び低コスト化による更なる収益性の向上を図る。

後継者の育成と飼養管理の効率化による、ゆとりある肉用牛経営を目指す。

経営規模を拡大し、より強固な生産基盤を確立する。また、繁殖部門の拡大による自家産肥育もと牛を確保し、収益性の向上を図る。

(肥育部門 2,000頭、繁殖部門 500頭)

自己資本比率を向上させ、経営基盤を確立する。

地産地消や良質堆肥の供給を広域に推進する。

認定法人、地域のリーダーとして地域社会の発展と振興に努める。